

東京都公立大学法人の第四期中期目標案について

資料3

※ 第四期中期目標期間：令和5年度～10年度（6年間）

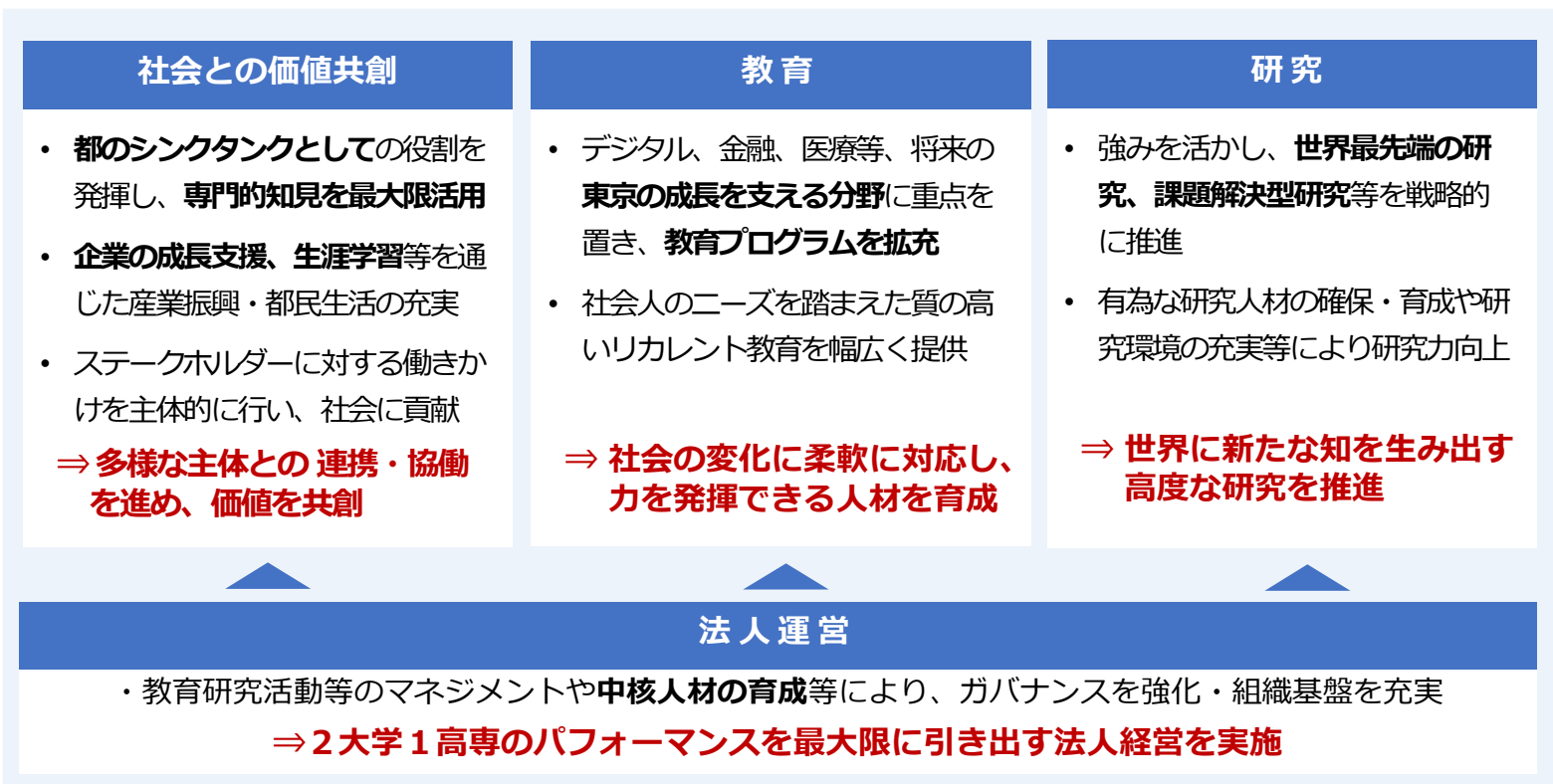
東京都公立大学法人の基本的な役割

- ✓ 都と緊密に連携し、次代の東京を担う人材の育成、新たな知の創造や大都市課題の解決に繋がる研究等「都立」の高等教育機関ならではの教育研究活動を推進
- ✓ 教育研究の成果を都民や地域社会に還元し、さらには世界へと波及させる

第四期中期目標策定に当たっての考え方

高等教育機関を取り巻く環境の変化

- ◆ 気候変動危機等の高度に複雑化した地球規模の問題に直面
⇒大学、企業、行政等が力を結集しなければ解決が困難
- ◆ 技術革新により社会の構造変化が加速
⇒DX等の成長分野で、諸外国が研究開発や人材育成にしのぎを削る中、日本のプレゼンスが低下
- ◆ 高等教育機関が果たすべき役割が高まる一方、学校間の競争が激化
⇒社会の期待に応えるための、学校経営戦略の在り方が問われる



主な目標及び達成に向けた具体的な取組

I 東京都立大学



分野	中期目標	都の想定する具体的な取組
1 社会との 価値共創	東京都等との連携・協働により、 大都市課題の解決や社会の持続的発展に資する教育研究を推進 し、成果を都政・都民に広く還元	<ul style="list-style-type: none"> TMUサステナブル研究推進機構を活用した都連携事業の推進 学長裁量研究費による自治体等との連携に基づく研究の強化
	<ul style="list-style-type: none"> 大学の教育研究資源の活用により、スタートアップ企業等への支援を強化し、イノベーションの創出を促進 起業家マインドを備えた人材の育成、研究シーズの事業化支援強化、多様な主体との共同研究等により、社会経済の成長と成熟に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 日野新棟の積極活用による共同研究強化やスタートアップ支援 大学発ベンチャー創出の支援、起業家育成の強化 企業等からの研究者の受入による研究促進
	<ul style="list-style-type: none"> 大学の教育研究資源を活用し、地域振興に貢献 都民等の多様な学びのニーズに応える生涯学習を推進 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりなど、自治体等と協働した地域振興 プレミアム・カレッジ、ICTを活用した生涯学習の拡充
2 教育	都立の大学として、 情報、国際金融、医療等 、東京の持続的な成長・発展を支える分野における 教育プログラムを充実 させ、高度な実践的知識・技術を有し、東京の未来をリードする人材を育成	<ul style="list-style-type: none"> 学生のレベルに応じた情報教育の強化 国際金融人材、高度医療人材等を育成する教育プログラムの拡充
	国際通用性の高い教育、学生の海外派遣や留学生受入促進等を通じ、国際社会で活躍できる人材を育成	<ul style="list-style-type: none"> 英語で学位取得可能な大学院の環境整備 学部への秋入学の導入 国際副専攻コースの拡充、海外留学や国際交流等の推進
	社会人に高度で専門的なリカレント教育を提供し、スキル・知識のアップデートを支援することで、 変化の激しい社会で活躍できる人材 を育成	<ul style="list-style-type: none"> メディア活用等による社会人の多様な学修需要への対応 東京都等自治体職員の研修プログラムの拡充
3 研究	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い領域で基礎研究を深化・発展、社会課題解決型研究を推進 大学の強みを伸ばし、都立の大学ならではの研究の充実を図るとともに、世界的研究拠点の形成につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> 優秀な若手研究者確保やトップ研究者招聘等による研究力向上 研究センター、リサーチコアの先鋭化
	組織的な研究支援体制の下、外部資金獲得拡大や研究活性化を支援	<ul style="list-style-type: none"> URA等の充実・活用による外部資金の獲得拡大や研究活動活性化 博士後期課程学生への経済・就職支援の充実
	多様な構成員が安心して高度な研究に取り組めるよう、研究環境を整備	<ul style="list-style-type: none"> 電子ジャーナル等、電子リソース整備促進 国際性の向上やダイバーシティの推進

分野	中期目標	都の想定する具体的な取組
1 社会との 価値共創	自治体や産業界等と連携し、社会課題解決、産業振興等に貢献するとともに、持続可能な社会の実現に貢献する教育研究を展開	<ul style="list-style-type: none"> 都内各自治体や多摩・島しょ等の地域課題への支援 自治体と連携した公開講座開催、自治体職員育成 外部機関との連携による中小企業支援、社会課題解決
	公開講座等を通じ、大学の教育研究成果を国内外に広く還元し、継続的な学修や学び直しを支援	<ul style="list-style-type: none"> AIITフォーラム等のイベント開催 新たな学び直し支援の構築
	修了生との結びつきを深め、修了生の継続的学修や修了生同士の交流を活性化	<ul style="list-style-type: none"> 修了生コミュニティ・研究所での継続的支援 ホームカミングデイ活用
2 教育	PBL型教育等の特色ある教育手法をより一層充実・発展 させ、産業界で必要とされる知識・技術やそれらの活用能力を有する高度専門職業人を育成	<ul style="list-style-type: none"> 背景等が異なる人材が学べる教育システムの展開 AIITブレンディッド・ラーニングの改善・推進 運営諮問会議を踏まえたカリキュラム見直し PBL教育の改善・推進、遠隔授業を含めた教育の質の改善
	国際通用性のある教育の提供、海外との連携深化を通じ、世界で活躍できる高度専門職業人を育成	<ul style="list-style-type: none"> AIIT型グローバル人材教育メソッドの発展・普及 外部機関とのグローバル連携 グローバルPBL
	戦略的な広報を通じて大学のプレゼンスを向上させるとともに、多様な入学者選抜を実施し、専門職大学院にふさわしい学生を安定的に確保	<ul style="list-style-type: none"> 多様な入学者選抜 SNS等、多様なチャネルを活用した広報の充実 学生の受入対象地域拡大
3 研究	産業振興等に資する研究、高度専門職業人の育成に資する研究を推進するとともに、研究成果を発信	<ul style="list-style-type: none"> 高度専門職人材教育研究センターにおける教育手法の研究 運営諮問会議での意見交換を踏まえた研究推進 AIIT研究所を通じた研究成果の発信による社会還元

分野	中期目標	都の想定する具体的な取組
1 社会との 価値共創	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり分野における知見やノウハウを活用し、都や地元企業等との連携により、社会課題解決や人材育成、産業振興等に貢献 持続可能な社会の実現に貢献する教育研究を展開 	<ul style="list-style-type: none"> ICT人材育成センターの創設や、ものづくり社会共創拠点の整備 若手技術者支援講座 スタートアップ講座開設 持続可能な社会の実現に向けた環境教育研究の推進
	<p>卒業生との結びつきを強化し、学生生活・キャリア支援等の共創関係を深め、学校を活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生・修了生・保護者(後援会)等からの学生教育支援の活性化
2 教育	<p>産業界の人材ニーズを捉えて教育内容を不断に見直し、実践的な知識・技術と豊かな教養を備え、首都東京の産業振興や課題解決に貢献する技術者を育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> データサイエンス教育の強化 本科コース再編に対応した専攻科の教育内容の充実 医工連携、情報セキュリティ、航空の教育プログラム推進 デジタル技術を活用した機械工学実習教育の推進 専攻科から都立大大学院への特別推薦制度構築 企業との連携による教育の充実
	<p>優れた国際感覚やコミュニケーション能力を有し、広く世界で活躍できる技術者を育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 海外体験プログラム（GCP、IEP）の更なる充実 連携協定に基づくモンゴル高専との交流実施 オンライン活用を含めた英語教育の充実
	<p>育成する人材像や特長・魅力を戦略的に発信するとともに、多様な入学者選抜を展開し、高い意欲を有する学生を確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 志願者確保に繋がる戦略的広報や小中学生向けイベントの強化 特別推薦入試の大田区、足立区等への拡充 女子学生の一層の確保
3 研究	<p>組織的な研究支援の充実や、大学、都の試験研究機関、企業等との連携強化等により、ものづくりの発展に貢献する研究を推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特別研究期間制度の拡充と利用促進 特定課題研究制度による研究支援 共同研究、医工連携共同研究等による2大学1高専連携強化

分野	中期目標	都の想定する具体的な取組
1 業務運営の 改善及び 効率化	戦略的な事業推進マネジメント機能を強化するとともに、社会動向等を把握し、機動的経営を推進	<ul style="list-style-type: none"> 重点的な取組に対するプロジェクト協働チームの設置 機動的な予算編成・組織運営
	<ul style="list-style-type: none"> 行政課題解決に向け都連携推進のための取組を強化 2大学1高専間連携を促進するための取組を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 都のニーズ調査の実施、都連携事業の充実に向けた機運醸成 教員情報の相互共有・一元化、機器の共同利用
	戦略的な事務組織編成や法人の中核を担う人材の確保・育成、組織一丸の業務改善を通じ、より高度な法人運営体制を実現	<ul style="list-style-type: none"> 組織・定数の最適化、同一事務のセンター化等 優秀な教職員確保、企画提案力向上等の職員育成 働きやすさや研究力の向上に資する教員人事制度の改善 働き方改革推進計画の実施
	各キャンパスの施設設備の計画的な更新・整備、効果的な運用を通じ、教育研究等の環境を改善	<ul style="list-style-type: none"> 環境への配慮を踏まえた施設の整備・更新 都立大キャンパスグランドデザインに基づく施設再配置
	内部統制を有効に機能させ、組織運営の適正性を確保し、法人の社会的信頼性を担保	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス行動指針等の整備 CSIRT活動の高度化 適切な危険物管理体制構築、訓練等の実施
2 財務内容の 改善	<ul style="list-style-type: none"> 自己収入の増加・多様化、経費削減、資産活用等により、安定的・自律的な財務基盤を確保 法人の経営状況を見極め、戦略的財務運営を展開 	<ul style="list-style-type: none"> 寄附金制度の再構築、同窓会との連携を通じた寄附金獲得 事業のスクラップアンドビルドの徹底 中長期的な視点を意識した財務運営
3 評価及び 情報提供	地方独立行政法人評価制度等を通じたPDCAサイクルを適切に機能させ、法人運営を着実に改善	<ul style="list-style-type: none"> 業務実績評価の効率化 評価結果の業務改善への適切な反映
	法人全体としての広報戦略を強化し、法人及び2大学1高専の社会的存在感を一層向上	<ul style="list-style-type: none"> SNS等を通じて各校の強みや特色を国内外に発信
4 その他 重要事項	気候変動危機への対応をはじめとする取組を推進し、持続可能な社会の実現に貢献	<ul style="list-style-type: none"> 教職員・学生が協働したSDGsへの取組を推進 カーボンニュートラル実行計画の推進